

製品安全データシート

1. 化学物質等および会社情報

製品名 ビソーコート
会社名 シャープ化学工業株式会社
担当部門 品質保証課
TEL 072-268-0322
制定・改訂 2007年8月16日

2. 危険・有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

分類対象外	
-------	--

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	分類できない
標的臓器／全身毒性（単回暴露）	分類できない
標的臓器／全身毒性（反復暴露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）	分類できない
水生環境有害性（慢性）	区分外

ラベル要素

なし

注意喚起語

なし

危険有害性情報

なし

注意書き

- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
- 屋外または換気の良い場所で使用すること。
- 取扱い後は良く手を洗うこと。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 皮膚または髪に付着した場合、皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。刺激が生じた場合医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。医師の診断を受けること。
- 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。
- 内容物を適切な焼却炉で焼却処理する。
- 都道府県条例に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

混合物

成分	CAS. NO.	含有率(%)	
アクリル樹脂	社外秘	20-30	
水		30-40	
炭酸カルシウム	471-34-1	20-30	
酸化チタン	13463-67-7	6.0	
その他添加剤	社外秘	1-10	

4. 応急処置

- 目に入った場合 直ちに清浄な多量の水で最低 15 分間洗い流す。速やかに専門医の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 付着物を布にてすばやく拭き取る。
大量の水で洗い流す。洗い流してから水と石鹼で皮膚を洗淨する。
外観に変化が見られたり、痛みがある場合には専門医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 安静にして直ちに医師の診察を受ける。口をすすぐこと。
- 最も重要な兆候 特になし
- および症状
- 応急措置をする 情報なし

者の保護

医師に対する特 情報なし

別注意事項

5. 火災時の処置

使用可能消火剤 ABCまたはBC型粉末消火器、二酸化炭素、泡消火剤

使用してはなら

ない消火剤

火災時特有の危 特になし

険有害性

特有の消火方法 適切な保護具を着用する。

消火を行なう者 消火者は適切な保護具を着用する。

の保護

6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項、 曝露防止のため、作業の際には適切な保護具を着用する。

保護具および緊急措置

環境に対する注意事項

漏出液を下水や側溝等に流してはならない。

少量漏出の場合にはウエス等で拭き取る。

大量漏出の場合、着火源を断ち蓋付きの容器に回収した上で焼却する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

皮膚、粘膜、着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。

局所排気・全体換気

局所排気装置、全体排気装置のある換気の良い場所で取り扱う。

注意事項

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置をつけ適切な保護具を着用して作業する。

取扱い後は手洗い等を十分に行ない、衣服に付着した場合は着替える。

保管条件

幼児の手の届かない所に置くこと。

直射日光を避ける。

8. 暴露防止処置

物質名	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH
酸化チタン	設定されていない	(粉塵として) 1mg/m ³	10mg/m ³

設備対策

密閉場所で作業する場合には、排気装置を取り付けること。

保護具

眼の保護 保護眼鏡を着用する。
 皮膚の保護 手袋を着用する。
 呼吸器系の保護 密閉された場所では送気マスクを着用する。

9. 物理および化学的性質

	内容物	
外観	ペースト	
臭気	特異臭	
pH	データなし	
融点	データなし	
沸点	データなし	
引火点	データなし	
発火点	データなし	
爆発範囲	データなし	
蒸気圧	データなし	
蒸気密度	データなし	
比重	1.3	
溶解性	水に可溶	
オクタノール/水分配係数	データなし	
分解温度	データなし	
その他	データなし	

10. 安定性および反応性

安定性 通常の条件では安定
 危険有害反応性 なし
 避けるべき条件 開封したままでの保管。
 危険有害な分解生成物 データなし

1.1. 有害性情報

急性毒性（経口）	酸化チタン	ラット LD50 >10000mg/kg
急性毒性（経皮）	酸化チタン	ウサギ LD50（概算）>10000mg/kg
急性毒性（吸入）	酸化チタン（粉塵）	ラット LC >6.82mg/L（4時間値）
皮膚腐食性/刺激性	酸化チタン	ウサギを用いた試験で皮膚刺激性が殆んど認められないとの
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	酸化チタン	ウサギを用いた試験で刺激性あり（mild）との記述
呼吸器感作性または皮膚感作性	酸化チタン	ヒト、パッチテストで陰性の記載
生殖細胞変異原性	酸化チタン	マウス小核試験で陰性、及びマウス染色体異常試験で陰性の記載
発がん性	酸化チタン	AGCIH A4 ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
生殖毒性	酸化チタン	情報なし
特定標的臓器/全身毒性（単回曝露）	酸化チタン	フュームは気道を刺激するとの記載
特定標的臓器/全身毒性（反復曝露）	酸化チタン	期にわたる又は反復ばく露による臓器（肺：粉じん吸入）の障害（区分1）
吸引性呼吸器有害性	酸化チタン	情報なし

1.2. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	酸化チタン	甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50>1000000 μg/L
水生環境有害性（急性）	酸化チタン	金属化合物であり水中での挙動が不明

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託するか、内容物を空气中で乾燥硬化させ、15cm以下に裁断して廃プラスチックとして処理する。
汚染容器・包装	内容物を使い切ってから分別廃棄する。

1.4. 輸送上の注意（取扱いおよび保管上の注意を参照のこと）

陸上輸送	該当しない
------	-------

海上輸送	該当しない
航空輸送	該当しない
国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
特別の安全対策	転倒、落下並びに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。

15. 主な適用法規

消防法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
労働安全衛生法	通知物質 酸化チタン : 192
毒物及び劇物取締法	該当しない

16. その他

危険・有毒性の評価は必ずしも充分でないので、取り扱いには充分注意して下さい。